

モニタリングチェックシート（平成28年度）

<評価>

優：特記すべき実績・成果が認められるもの

良：管理運営が良好と認められるもの

要改善：一部において改善を要する点が見受けられるもの

施設名	光が丘子ども家庭支援センター
指定管理者名	社会福祉法人 雲柱社
評価者	練馬子ども家庭支援センター所長

評価項目および評価の視点	評価	評価理由・改善すべき点等
1 効率的運営・効率化への取り組み <ul style="list-style-type: none"> 事業計画書で提案された収支計画の目標を達成できているか 事業計画書で提案されたとおり事業が実施されているか 管理業務費の経理および実費負担金等については、適正な処理を行っているか(チェックリストの活用) 帳簿等を整備して、管理業務費の執行状況等を記録しているか 収納した金銭等の取扱いについて、管理体制を構築しているか 利用者の利用状況は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 基本協定および事業計画書に基づいて計画的な事業運営が実践されている。 会計帳簿等は整備され、管理業務費は適正に管理されている。 子育てのひろばを通年開室とし、多くの利用者を受け入れている。
2 施設管理運営体制 <ul style="list-style-type: none"> 業務の再委託における範囲は適正か 再委託する際に、区内事業者の活用につとめているか 物品を調達する際に、区内業者から調達するようつとめているか 職員の配置は適正か 職員について区内雇用および区内の障害者・高齢者の雇用促進を図っているか 設備の保守点検は適切に行われているか 備品の管理は適切に行われているか 練馬区環境マネジメントシステムの趣旨を踏まえた業務を行っているか 損害保険等の加入状況は適切か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 再委託の範囲は適正であり、区内事業者を活用している。 事業拡大により、乳幼児一時預かりの利用者数も前年度と比べ大幅に増加しているなか、十分な人員を配置し、児童1人1人に丁寧に対応している。 利用者が居心地の良い環境を整える一方で、節電等を徹底し、環境に配慮した運営を心がけている。 事業の遂行にあたり、適切な損害保険等に加入している。
3 サービスの維持・向上に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> 現在のサービス水準を維持し、向上に向けた取り組みを進めているか 苦情処理の規定と体制を整備し、苦情があった際に適切かつ迅速に対応しているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 0歳児親子や妊婦が初めてひろばを利用するきっかけとなる講座を積極的に実施している。 接遇の心得をまとめたガイドラインを作成し、心地よい環境づくり等利用者の視点に立った運営に努めている。
4 法令遵守等 <ul style="list-style-type: none"> 管理業務で知りえた秘密を保持する方策を講じているか 職員の採用選考および勤務条件について、関係法令を遵守しているか 男女雇用機会均等法、育児介護休業法、パートタイム労働法の遵守およびこれらの法に関する国の指針に基づく取組をしているか 緊急時のマニュアルを区と協議して整備し、緊急時には適切な措置を講じているか 練馬区情報セキュリティポリシーに定める水準と同等もしくはそれ以上の水準を保障する対策を講じているか 個人情報保護条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか(チェックリスト、マニュアル等の活用) 情報公開条例等に準拠した規程を設け、必要な措置を講じているか 	良	<ul style="list-style-type: none"> 各項目について、法令を遵守し、必要な規程等を設け、適切な措置を講じている。 緊急時のマニュアルを整備し、施設利用者を交えた実践的な避難訓練を実施している。 区の規程に準拠した情報セキュリティ規程、個人情報保護規程および情報公開規程を整備しているほか、ボランティアを受け入れる際に、1人1人個人情報の保護等に関する説明を実施する等、必要な措置を講じている。
5 利用者評価等 <ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケート等の評価は良好か 	良	<ul style="list-style-type: none"> 利用者アンケートの評価は良好である。(90%以上が満足)
総合評価	良	・全項目について、区が求める水準を満たしている。平成28年1月に分室を開設し、事業を拡大していく中で、子どもと向き合う姿勢や過ごしやすい環境づくり等について見直し、改めて接遇ガイドラインを作成した。また、利用児童の低月齢化に合わせ、0歳児親子を対象とした「親子の絆づくりプログラム」を実施する等、利用者のニーズに合った講座を積極的に実施している。